# 第７回
# 夢･未来熊谷ジュニア議会
# 会議録

平成 24 年 11 月 14 日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会

# 目　次

1. 第7回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要 1
2. 議事日程 3
3. 出席議員（32名） 4
4. 一般質問 5
質問番号1　市長公室関係 5
- 議席番号 1　荒川中学校　田中　涼太議員
- 議席番号 5　大原中学校　周東　真司議員
- 議席番号 12　大麻生中学校　横田　莉賀子議員
- 議席番号 21　奈良中学校　吉井　廣生議員

質問番号 2　総合政策部関係 10
- 議席番号 4　富士見中学校　神林　葵議員
- 議席番号 6　大原中学校　荒川　実璃議員
- 議席番号 24　大幡中学校　四分一　優佳議員

質問番号 3　総合政策部関係 14
- 議席番号 29　妻沼西中学校　三浦　大輔議員
- 議席番号 30　妻沼西中学校　風間　妃奈乃議員
- 議席番号 32　江南中学校　鈴木　梨央議員

質問番号 4　総務部関係 18
- 議席番号 15　吉岡中学校　反町　亮徳議員

質問番号 5　市民部関係 20
- 議席番号 11　大麻生中学校　三村　健人議員
- 議席番号 14　中条中学校　青木　未希議員
- 議席番号 26　大里中学校　小池　美花議員

質問番号 6　福祉部関係 24
- 議席番号 19　三尻中学校　田村　恭志議員

質問番号 7　環境部関係 26
- 議席番号 2　荒川中学校　田代　綾議員
- 議席番号 8　熊谷東中学校　白川　未彩議員
- 議席番号 9　玉井中学校　土屋　真志議員

- 議席番号 17　別府中学校　森　隆浩議員
- 議席番号 31　江南中学校　新井　健議員

質問番号 8　産業振興部関係 ..... 31
- 議席番号 16　吉岡中学校　小久保　日奈子議員
- 議席番号 18　別府中学校　中島　麗議員
- 議席番号 23　大幡中学校　柴﨑　恭兵議員
- 議席番号 27　妻沼東中学校　田部井　大和議員

質問番号 9　都市整備部関係 ..... 36
- 議席番号 22　奈良中学校　松本　彩花議員

質問番号 10 教育委員会関係 ..... 38
- 議席番号 3　富士見中学校　堀越　秀人議員
- 議席番号 7　熊谷東中学校　間瀬　湧平議員

質問番号 11 教育委員会関係 ..... 41
- 議席番号 10　玉井中学校　塚田　枝里奈議員
- 議席番号 20　三尻中学校　江幡　咲希議員
- 議席番号 25　大里中学校　武田　拓己議員
- 議席番号 28　妻沼東中学校　谷津　絵里議員

質問番号 12 消防本部関係 ..... 46
- 議席番号 13　中条中学校　渡邊　澪樹議員

6. ジュニア議員の感想　～ジュニア議会を終えて～ ..... 48

7. 参考資料(ジュニア議員座席表) ..... 50

8. 参考資料(答弁のための出席者) ..... 51

# １、第7回夢･･未来熊谷ジュニア議会の概要

夢･未来熊谷ジュニア議会は、平成18年10月に「子ども議会」としてスタートし、今年度で第7回を迎えました。本議会に先立ち、2回のワークショップを行って、市政に関する事前学習とジュニア議員同士の交流を深めました。

**第１回ワークショップ（平成２４年７月３１日〔火〕）**

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

財政をテーマにして、市の予算の概要に関する講義を受講し、その後、グループに分かれて、事前に考えて持ち寄った市への質問を各々発表しました。各班活発な意見交換が行われました。

**第２回ワークショップ（平成２４年８月２０日〔月〕）**

熊谷市の暑さ対策とまちづくりに関する講義を受講しました。その後、受講内容についてグループディスカッションを行い、市への提案を発表しました。国内最高気温を記録した熊谷市らしく、暑さ対策に関する意見が多く寄せられました。

**第7回夢‥未来熊谷ジュニア議会（平成24年11月14日〔水〕）**

熊谷市議会本会議場で開催しました。

新井正夫　熊谷市議会議長が臨時議長をつとめ、議長に別府中学校の中島　麗議員が、副議長に荒川中学校の田中涼太議員が指名されました。

市内16中学校の2年生32人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長をはじめ市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

## 2、議事日程

（平成24年11月14日〔水〕13時30分開会）

1　市議会議長あいさつ

2　開会　　臨時議長（熊谷市議会議長）

3　市長あいさつ

4　議長の選挙（指名推選）

5　副議長の選挙（指名推選）

6　一般質問

（途中議長が副議長と交代）

7　閉会　　副議長

8　講評　　熊谷市議会議長
　　熊谷市長

## 3、出席議員（32名）

| 議席番号 | 学校名 | 学年・組 | 氏　　名 |
|---|---|---|---|
| 1 | 荒川中学校 | ２年１組 | 田中　涼太 |
| 2 | | ２年１組 | 田代　綾 |
| 3 | 富士見中学校 | ２年６組 | 堀越　秀人 |
| 4 | | ２年２組 | 神林　葵 |
| 5 | 大原中学校 | ２年１組 | 周東　真司 |
| 6 | | ２年１組 | 荒川　実璃 |
| 7 | 熊谷東中学校 | ２年２組 | 間瀬　湧平 |
| 8 | | ２年４組 | 白川　未彩 |
| 9 | 玉井中学校 | ２年３組 | 土屋　真志 |
| 10 | | ２年４組 | 塚田　枝里奈 |
| 11 | 大麻生中学校 | ２年２組 | 三村　健人 |
| 12 | | ２年１組 | 横田　莉賀子 |
| 13 | 中条中学校 | ２年１組 | 渡邊　澪樹 |
| 14 | | ２年２組 | 青木　未希 |
| 15 | 吉岡中学校 | ２年２組 | 反町　亮徳 |
| 16 | | ２年１組 | 小久保　日奈子 |
| 17 | 別府中学校 | ２年２組 | 森　隆浩 |
| 18 | | ２年１組 | 中島　麗 |
| 19 | 三尻中学校 | ２年２組 | 田村　恭志 |
| 20 | | ２年４組 | 江幡　咲希 |
| 21 | 奈良中学校 | ２年２組 | 吉井　廣生 |
| 22 | | ２年１組 | 松本　彩花 |
| 23 | 大幡中学校 | ２年２組 | 柴﨑　恭兵 |
| 24 | | ２年３組 | 四分一　優佳 |
| 25 | 大里中学校 | ２年Ａ組 | 武田　拓己 |
| 26 | | ２年Ｃ組 | 小池　美花 |
| 27 | 妻沼東中学校 | ２年３組 | 田部井　大和 |
| 28 | | ２年２組 | 谷津　絵里 |
| 29 | 妻沼西中学校 | ２年１組 | 三浦　大輔 |
| 30 | | ２年３組 | 風間　妃奈乃 |
| 31 | 江南中学校 | ２年２組 | 新井　健 |
| 32 | | ２年３組 | 鈴木　梨央 |

# 4、一般質問

## 質問番号1　市長公室関係

**議席番号1　荒川中学校　田中（たなか）　涼太（りょうた）　議員**

**東日本大震災の被災地への取組みについて**

今、被災地では、「復興」を目標に力を合わせて協力・努力など、苦しい中をがんばって暮らしています。熊谷市では、不自由なく暮らしています。

そんな熊谷市民が被災地に向けて何かできないかと思いました。

実際に熊谷市が被災地に向けて行っていることはありますか。教えてください。

**議席番号5　大原中学校　周東（しゅうとう）　真司（しんじ）　議員**

**東北地方復興支援について**

東北の震災復興支援について、熊谷市でも災害廃棄物受け入れなどしていると聞きました。熊谷市は、他の自治体に比べても、早くから受け入れを行い、市民として誇りに思います。

そこで、市長さんに質問があります。熊谷市の、災害廃棄物受け入れ以外の復興支援について、現在行っている支援と、今後行う予定の支援について教えてください。また、震災から1年8か月たち、私の中学校も色々な支援をしたいと思うのですが、現状は募金しかできません。この東北への支援について、私たち中学生にできることはないでしょうか。

**議席番号12　大麻生中学校　横田（よこた）　莉賀子（りかこ）　議員**

**災害時の対応について**

大きな地震等の災害に対して、熊谷市はどこまで考え、対策をしていますか。非常食、水などの備蓄についてはどの程度あるのかお伺いします。また、学区内には3つの県立学校があり、避難所が自分の通学する小・中学校よりも、これらの県立学校が近い場合は、そちらに避難してもよいのですか。また、その際は市の対応になるのか、県の対応になるのかお伺いします。

**議席番号21　奈良中学校　　吉井（よしい）　廣生（ひろき）　議員**

**学校と地域との共同避難訓練について**

東日本大震災のあと、防災対策が重要となっています。各家庭での備えはもちろんですが、学校でも、通常の避難訓練に加え、新たに引き渡し訓練を実施するなど、さまざまな場面を設定しての防災対策が行われるようになってきました。そんな時代だからこそ、地域と学校とが協力して防災対策を行うことも大切だと感じています。

学校と地域が一体となって防災訓練を行うことは可能でしょうか。

**答弁**

**（市長）**

田中　涼太議員さん、周東　真司議員さん、横田　莉賀子議員さん、吉井廣生議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは副市長及び担当部長からお答えします。

始めに、田中さんの「東日本大震災の被災地への取組みについて」ですが、 東北地方に未曾有の被害をもたらした大震災から1年8ヶ月が経過しましたが、その復興は始まったばかりです。仮設住宅などでの不安定な生活を強いられている方も約33万人いるとのことで、１日も早い復興を願うとともに、日本全体で被災地を支援していかなければならないものと考えています。

熊谷市では、これまで市民皆様から提供いただいた生活物資などを被災地へお送りするとともに、復旧等のための職員派遣、県外からの避難者の受入れを行っており、これからも、被災地のニーズに応じた支援を行っていきたいと考えています。

次に、周東さんの「東北地方復興支援について（私たち中学生にできること）」ですが、現在、被災地では長期的な復興計画のもと、住民と行政が一体となり、災害に強いまちづくりが進められています。

熊谷市では、震災後に市民皆様からの義援金などを被災地へお送りすることや、復

旧等に関する支援を行ってきました。
　被災地では、現在もNPOなどのボランティア活動は復興支援に大きな役割を果たしています。休日に親子で参加するボランティア活動や、自宅にいて現地のブログやホームページを読み、コメントすることも現地の人を勇気づける支援の一つであります。
　このように考えていけば様々な支援が思い浮かんで来ます。今、自分たちで何ができるのか、皆さんで考え行動することが大切であると考えています。

　次に、横田さんの「災害時の対応について」ですが、熊谷市では、地域防災計画において、深谷断層を震源とする最大震度6強を想定した災害に備え、避難者数を想定し、食糧や生活必需品を計画的に備蓄しています。
　大規模災害時には熊谷市災害対策本部が設置され、私が本部長となり、市内の災害対応にあたります。建物やライフラインに大きな被害が発生した場合には、指定避難所、補助避難所の順に避難所を開設しますので、防災行政無線などから正確な情報を入手し、二次災害に十分注意しながら避難していただきたいと思います。

　次に、吉井さんの「学校と地域との共同避難訓練について」ですが、熊谷市では自治会を主体とした自主防災組織が192団体あり、自主的に防災訓練を実施するなど、地域の防災力を向上させるための活動をしています。
　また、市内の全小中学校では緊急地震速報を活用した避難訓練など新たな手法を取り入れ、皆さんが自らの判断で行動することが身につくなど、効果をあげています。この避難訓練は、全国に先駆けて実施されその取り組みは、高く評価されています。
　「自分の身は自分で守る」という個々の自覚に根ざした活動や、「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」という助け合いの活動など、学校と地域がお互いに協力し合い、それぞれの訓練の特長を生かしながら一体となった防災訓練を実施することは、とても大切なことであると考えています。

**議席番号1　荒川中学校　田中　涼太　議員**
**東日本大震災の被災地への取組みについて（市長公室長）**
　田中　涼太議員さんの「東日本大震災の被災地への取組みについて」にお答えします。
　昨年3月に発生しました東日本大震災は、東北地方を中心とした広範囲な地域に未曾有の被害を及ぼしました。
　熊谷市では、地震発生直後に、いち早く緊急消防援助隊を派遣するとともに、物資等の緊急支援を、宮城県多賀城市を始め12市へ送ったほか、宮城県仙台市、石巻市、七ヶ浜町などへ生活再建支援や復旧・復興支援のための市職員の派遣を行ってきました。また、被災地からの避難者を一時的に、旧市立女子高等学校で受け入れたほか、市営住宅や民間アパートなどで受け入れを行っています。
　現在、市内には51世帯117人が避難生活を余儀なくされています。
　熊谷市では、これら避難者への中長期的な支援として、原発避難者に対する特別な法律に基づく特例事務や国民健康保険税・ヒブワクチンなど各種減免制度の適用をはじめ、企業や市民・市が一体となり設立した「東日本大震災オール熊谷自立支援

ネットワーク」により、仕事や生活、そして住まいなど様々な支援を行っています。

※　原発避難者に対する特別な法律:『東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律』（平成23年法律第98号）

**議席番号5　大原中学校　周東　真司　議員**

**東北地方復興支援について（市長公室長）**

周東　真司議員さんの「東北地方復興支援について」にお答えします。

被災地へのこれからの復興支援としては教育支援、仮設住宅支援、県外避難者支援、コミュニティ支援などが考えられます。

現在、熊谷市では県外避難者支援として、被災地からの避難者を市営住宅に受け入れ、家賃の減免を行っているほか、民間アパートなどで生活をしている避難者に対しても、水道料金や下水道使用料などの各種減免を行っています。さらに、企業や市民・市が一体となり設立した「東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク」により、就業支援や居住支援、また「ふるさと交流サロン」を通じての避難者コミュニティ支援など、様々な支援を行っています。

これからも、被災地のニーズに応じた支援を行っていきたいと考えています。

次に、中学生にできる支援についてですが、東日本大震災では、救援物資の配布などに、地元の中学生ボランティアが活躍しました。周東さんたちの募金活動も立派な支援の一つだと思います。

その他にも、東北地方への家族旅行や、東北の物産を購入するなど、日常生活で行えることも被災地支援となります。また、被災地の中学生と交流する機会を持つことも、大きな励ましとなります。

家族や友達、先生方と話し合い、被災地の現状を正しく理解し、今自分達に何ができるかを考えていただきたいと思います。

**議席番号12　大麻生中学校　横田　莉賀子　議員**

**災害時の対応について（市長公室長）**

横田　莉賀子議員さんの「災害時の対応について」にお答えします。

熊谷市の地域防災計画では、深谷断層を震源とする最大震度6強による被害を想定し、災害予防計画や震災応急対策計画などを策定しています。

被害想定における避難者は、最大で3万7千人としており、そのための食糧として乾パン約3万8千食をはじめアルファ米やペットボトルの水など、また、生活用品として約4千枚の毛布などを備蓄しており、今後も計画的に整備し、市内9箇所の防災倉庫や各小学校に分散備蓄することで災害に備えています。

次に、大麻生中学校区内における避難所についてですが、区域内にあります3つの県立学校は、熊谷市地域防災計画において、補助避難所として位置づけています。

大規模な災害が発生すると、熊谷市では災害対策本部を設置し、被災された方の生活場所が必要な場合は、市職員が建物の安全確認を行った後に避難所を開設します。その際には、指定避難所であります小学校を優先して開設し、その後、被害状況に応じて補助避難所を開設することになります。

なお、そのときは、防災行政無線や広報車及び災害情報メール等でお知らせいたしますので、市からの正確な情報を入手し避難していただきたいと思います。

**議席番号21　奈良中学校　　吉井廣生　議員**

**学校と地域との共同避難訓練について（副市長）**

吉井　廣生議員さんの「学校と地域との共同避難訓練について」にお答えします。

万が一の災害発生時に、慌てず冷静に適切な対処ができるよう、日頃から防災訓練に取組んでおくことが重要です。

熊谷市では、地域の皆さんがお互いに協力し「自分達の地域は自分達で守る」ことを基本とし、自主防災組織の結成及び活動を、地域へ働きかけています。

自主防災組織による防災訓練のなかには、災害時に避難所となる学校において、その地域の自主防災組織が集まり、避難所が開設された際の連携を図れるよう、合同で取組んでいる組織もあります。また、市内のある地域では、小学校の避難・引き渡し訓練と合わせて、児童と一緒に訓練を実施している組織もあります。そうした地域の防災訓練に皆さんも積極的に参加することで、より一層、地域の防災力は向上するものと考えます。

災害に強いまちをつくるためには、市民一人ひとりが、日頃から防災の意識をもって考え、行動することが大切です。

学校もその地域の一員であることから、地域の自主防災組織と足並みを揃え協力して防災訓練を実施できるよう、学校を通して地域の自主防災組織と相談してみてはいかがでしょうか。

# 質問番号２　総合政策部関係

**議席番号４　富士見中学校　神林（かんばやし）　葵（あおい）　議員**

**北部地域振興交流拠点施設について**

県と合同で、地域の特色や資源を生かした次世代産業の振興・集積と地域の産業振興や文化・市民活動支援を促進する交流拠点としての施設を熊谷市コミュニティひろばにつくる予定としていますが、具体的にどのようなものなのですか。

また、その場所にできた場合、熊谷市コミュニティひろばを使っていたうちわ祭や胎内くぐり、その他のイベントなどはどうなるのですか。

**議席番号６　大原中学校　荒川（あらかわ）　実璃（みのり）　議員**

**屋内スポーツ施設を増やすことについて**

屋内で遊べたり、体を動かせるような建物が増えればいいと思います。

ボウリング場やバッティングセンターなどは民間の商業施設のため、有料で体を動かせて遊べる場所です。

もっと、無料で、低価格で体を動かせて、公的な遊べる場所が増えればいいです。

雨の日でも、みんなで運動ができ、遊べるような公的なスポーツ施設があるとうれしいです。

**議席番号２４　大幡中学校　四分一（しぶいち）　優佳（ゆうか）　議員**

**時計台の設置について**

東京では、今東京スカイツリーが話題になっています。そこで、熊谷では熊谷タワーを作り、そこに時計台を設置してもらいたいと思いました。

どこから見ても時間がわかり、友人との待ち合わせなどに遅れる心配もないかと思います。また、花火などが見られる展望台を作って、熊谷市のシンボルとして有名になり、たくさんの人が来てくれるようなものにしてもらいたいです。

**答弁**

**（市長）**

神林　葵議員さん、荒川　実璃議員さん、四分一　優佳議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、担当部長からお答えします。

はじめに、神林さんからの「北部地域振興交流拠点施設（仮称）について」ですが、現在、うちわ祭を始め様々な祭りやイベントで活用されている「コミュニティひろば」は、昭和61年に、埼玉県で「テクノグリーン構想」が計画され、その中心となるビルの建設用地として確保したものです。

その後、長期の経済低迷のため、20年以上に渡り、活用方法を検討してきましたが、今回この広場に、新たな構想がまとまりつつあります。

構想では、「北部地域振興交流拠点施設（仮称）」として、新県立図書館、電気自動車などの研究を行う、次世代産業支援施設、地域産業を活性化する地域産業支援施設、文化・市民活動支援施設、民間にぎわい施設の導入を計画しており、お祭りやイベント等にも使える交流広場も整備したいと考えています。

次に、荒川さんの「屋内スポーツ施設を増やすことについて」ですが、熊谷市には、7つの市立体育館やアクアピア、健康スポーツセンターのほか、彩の国くまがやドームなどの屋内スポーツ施設があり、目的に応じて、多くの市民の皆さんに利用をいただいています。

また、旧市立女子高校跡地を活用し、生涯学習の拠点として(仮称)スポーツ・文化村という施設を、来年9月のオープンに向け、整備を進めています。

これらの施設は、低料金で利用することができますので、皆さんも、大いにスポーツに親しみ、心や体を鍛えてください。

次に、四分一さんの「時計台の設置について」ですが、高さ世界一の自立式電波塔として建設された東京スカイツリーは、新たな東京の観光名所として、脚光を浴びています。

私は熊谷市にも、市民の誇りとなるようなシンボル施設が必要と思っていますので、先ほど神林さんにもお答えしたとおり、北部地域振興交流拠点施設（仮称）の建設に向けた検討を進めています。

時計台を設置した熊谷タワーの建設は難しいと思いますが、北部拠点施設が、熊谷の新しいシンボルになり、多くの人が集まるものと考えていますので、期待してください。

**議席番号4　富士見中学校　神林　葵　議員**

**北部地域振興交流拠点施設について（総合政策部長）**

神林　葵議員さんの「北部地域振興交流拠点施設（仮称）について」にお答えします。

これまで県との共同事業として、施設の整備に向けて検討してきましたが、県が整備する施設については、電気自動車などの次世代自動車の開発や再生可能エネルギーなどに取り組む中小企業を支援する「次世代産業支援施設」や、県民、企業の課題解決や、知識、ビジネス支援及び情報の拠点となる「県立図書館」の導入を想定し

ています。
　熊谷市が整備する施設については、「文化、市民活動支援施設」として、老朽化した中央公民館と、市民活動支援センター、国際交流協会を、「地域産業振興支援施設」として、商工会議所を含む、現在の商工会館機能や観光協会を、「にぎわい施設」として、祭り資料館などを想定した郷土館や、民間にぎわい施設の導入を検討しています。
　また、計画予定地は、「コミュニティひろば」として、うちわ祭をはじめとする地域行事において貴重なオープンスペースとして活用されてきた経緯があることから、交流広場を設け、施設利用者や地域住民の活動、憩いの場として整備をし、イベントなどでも活用できる機能を確保したいと考えています。
　将来の熊谷市において、中核的・シンボル的な施設となるよう計画していますので、神林さんも応援してください。

**議席番号6　大原中学校　荒川　実璃　議員**
**屋内スポーツ施設を増やすことについて　（総合政策部長）**
　荒川　実璃議員さんの「屋内スポーツ施設を増やすことについて」にお答えします。
　熊谷市には、市立や県立のスポーツ施設が多数あり、県内でも有数の規模となっています。市立の7つの体育館では、バスケットボール、バレーボールをはじめ、卓球、バドミントンなどのインドアスポーツの大会や練習で、多くの皆さんに利用されています。
　このうち、市民体育館を始め、大里、妻沼、江南、籠原の5つの体育館では、低料金でどなたでも利用できる「一般開放日」を設けています。体育館のほかにも、熊谷さくら運動公園の弓道場や妻沼地区にある武道館などでは、柔道、剣道、弓道などの武道を、アクアピアや健康スポーツセンターでは、年間を通して水泳を楽しむことができます。このほか、県営の熊谷スポーツ文化公園の「彩の国くまがやドーム」は、人工芝の多目的広場と体育館があり、様々なスポーツイベントで利用されていますが、テニスやフットサルでは、個人利用もできるとのことです。
　このように、熊谷市には多くの屋内スポーツ施設がありますので、友達同士や家族でスポーツを楽しみ、大いに身体を鍛えていただきたいと思います。
　また、先ほど市長がお答えいたしました、(仮称)スポーツ・文化村がオープンしますと、屋内スポーツ施設が増えることとなります。市民の皆さんが、スポーツや文化に気軽に親しめるような施設として整備をしていますので、多くの方に利用していただきたいと思っています。

**議席番号24　大幡中学校　四分一　優佳　議員**
**時計台の設置について（総合政策部長）**
　四分一　優佳議員さんの「時計台の設置について」にお答えします。
　東京スカイツリーは、今年5月に開業以来　たくさんの観光客でにぎわっている様子が毎日のようにテレビで映し出されていました。
　皆さんや皆さんのお友達の中にも行った方もおられると思いますが、このタワーは、建設費として、約400億円を費やしたとのことです。
　そこまでの規模ではないにしても、展望台や時計台を備えたタワーを単独で建設し、運営していくには、多額の費用がかかりますので、現状では、熊谷タワーを建設するの

は難しいと考えています。
　しかしながら、四分一さんから提案をいただいた、熊谷市のシンボルとしての施設の存在は、熊谷市を多くのみなさんに知っていただき、仕事や観光に訪れていただく、という視点では、非常に重要な要素です。
　先程、神林議員さんから質問のありました、北部地域振興交流拠点施設（仮称）は、人が集まり、交流することを想定して、熊谷市の中心部にシンボリックな建物として建設される予定ですので、この施設に、四分一さんの提案の趣旨を生かすことができるか、考えてみたいと思います。

# 質問番号3　総合政策部関係

**議席番号29　妻沼西中学校　三浦（みうら）　大輔（だいすけ）　議員**

**ラグビータウン熊谷を**
**もっとよく知ってもらうことについて**

熊谷のラグビー人口を増やして、もっと沢山の人にラグビーを知ってもらいたいと思います。そして2019年のラグビーワールドカップは熊谷でも開催して欲しいです。

さらに一層ラグビータウン熊谷として盛り上がるように、子供から大人まで広くラグビーに親しんでいける取組みをもっと増やすことはできないでしょうか。

**議席番号30　妻沼西中学校　風間（かざま）　妃奈乃（ひなの）　議員**

**熱中症について（クールスカーフの配布）**

昨年の妻沼西中学校では、熱中症によって救急車で運ばれる生徒もいました。

部活動をしているときに、クールスカーフを着用することで熱中症になる生徒を軽減できると思います。クールスカーフを小学校などに配布していますが、なぜ中学校には配布されないのでしょうか。

来年も厳しい暑さが予想されるので、クールスカーフを配布していただけるとありがたいです。

**議席番号32　江南中学校　鈴木（すずき）　梨央（りお）　議員**

**ゆうゆうバスについて**

江南地区には、「ほたる号」という「ゆうゆうバス」が走っています。

私は、その「ゆうゆうバス」を以前利用したことがありますが、その時は、私一人しか乗っていませんでした。

そこで、私は「ゆうゆうバス」の利用者をもっと増やしたほうがよいと思いました。そうすることで、多くの人に熊谷市を知ってもらう機会となるからです。また、バスを利用することは、環境にもよいと思うからです。

**答弁**

**（市長）**

三浦　大輔議員さん、風間　紀奈乃議員さん、鈴木　梨央議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、担当部長からお答えします。

はじめに、三浦さんからの「ラグビータウン熊谷をもっとよく知ってもらうことについて」ですが、熊谷市は、平成3年度から「ラグビータウン熊谷」としてラグビーを生かしたまちづくりを進めてきました。

こうした中、2019年に、日本でラグビーワールドカップが開催されることとなりましたので、この大会を「ラグビータウン熊谷」を国内のみならず世界に発信する絶好の機会と捉え、埼玉県ラグビー協会などと協力して招致活動を進めています。

次に、風間さんの「熱中症について（クールスカーフの配布）」ですが、熊谷市では、「あついぞ！熊谷」事業により、夏の暑さを活かしたまちづくりを進めてきたところですが、その一方で、夏の暑さから市民を守る健康対策や　ヒートアイランド対策を中心とした「あつさ　はればれ熊谷流」プロジェクトにも積極的に取り組んでいます。

クールスカーフの配布事業は、平成23年度から　実施したもので、比較的熱中症にかかりやすいと言われている高齢者や小学生を対象にしています。

また、部活動などで夏の炎天下で活動することの多い中学生の皆さんには、クールスカーフの配布では無く、熱中症予防やその対処方法を身に着けていただきたいと考え、『「暑さ対策」暑さにまけるな中学生事業』を実施しているところです。

なお、これらの取組みにより、環境省が後援している『ひと涼みアワード2012』において、250団体を超える応募の中、最上位の7団体に授与される「トップランナー賞」を受賞することができました。

次に、鈴木さんの「ゆうゆうバスについて」ですが、ゆうゆうバスは、民間のバス会社が市からの補助を受けて、一般の路線バスとは異なるルートを安い運賃で運行しています。

また、昨年10月からは、江南地区と熊谷駅周辺に新しい路線を開設し、今までの路線についても、経路の延長や新しい停留所の設置などの見直しを行い、18万人余りの皆さんに利用いただきました。

ゆうゆうバスをはじめ、民間の路線バスなどの公共交通は、市民生活のために大切な移動手段であり、環境対策の面からも効果がありますので、より多くの人に乗ってもらえるよう知恵を絞っていきたいと考えています。

**議席番号29　妻沼西中学校　三浦　大輔　議員**

**ラグビータウン熊谷をもっとよく知ってもらうことについて（総合政策部長）**

三浦　大輔議員さんの「ラグビータウン熊谷をもっとよく知ってもらうことについて」にお答えします。

熊谷市は、「実践」「応援」「協力」を合言葉に、スポーツ熱中都市を宣言して、スポーツの振興に努めています。なかでも、ラグビーは、第22回国民体育大会の競技会場となったことから、荒川河川敷にラグビー場を整備し、以来、埼玉県のラグビーは、

熊谷を中心に発展してきました。 平成3年には、国内屈指の規模を持つ熊谷ラグビー場が完成し、全国高校選抜ラグビー大会をはじめ、多くの試合が開催されています。
また、幼稚園児以上を対象として開催している「ラグビー教室」は、40年以上も続いていて、小さい頃からラグビーに親しむ環境をつくるなど、市民へのラグビーの浸透を図ってきました。
今後、熊谷市のラグビーを更に盛り上げるには、「ラグビーのチームを増やす」、「市民皆さんが誇りを持って応援できるチームがある」ことなどが必要になると思っています。また、ラグビーワールドカップの試合を熊谷ラグビー場で開催することは、ラグビータウン熊谷を世界に向けて発信することや、ラグビーの普及にも絶好の機会になるものと思っていますので、市民皆さんのご協力をいただきながら、招致活動に取り組んで行きたいと思います。
これからも、市や県のラグビー協会などと協力して、たくさんの市民皆さんがラグビーに親しんだり、ラグビー人口が増加するような取り組みも今まで以上に進め、ラグビータウン熊谷を発信したいと考えています。

**議席番号30　妻沼西中学校　風間　妃奈乃　議員**
**熱中症について（総合政策部長）**
風間　妃奈乃議員さんの「熱中症について（クールスカーフの配布）」にお答えします。
クールスカーフ配布事業は、熱中症予防対策の一環として、平成23年度に、体力的にも弱者である65歳以上の単身高齢者及び全小学生に対し配布を始め、24年度は、23年度事業に加え対象を拡大して、75歳以上の全市民に配布しました。
中学生への熱中症予防対策としては、23年度から、中学校2年生を対象に、熱中症の正しい知識と予防・対処方法を学ぶことにより、熱中症の発生を予防し、適切な処置を行うことのできる、暑さに負けない元気な中学生を育成することを目的に講習会を実施しています。
これらの効果もあり、23年度熱中症による　救急搬送者は143名でありましたが、真夏日を57日連続で記録することとなった今年度は106名で、37名の減少となりました。
熱中症予防には、クールスカーフに限らず、様々な対策が必要ですので、比較的体力のある中学生に対しましては、熱中症予防講習会でしっかりした予防知識を身につけ、学校生活や家庭でも実践していただいて、市と一緒になって、熱中症予防に取り組んでいただきたいと考えています。

**議席番号32　江南中学校　鈴木　梨央　議員**
**ゆうゆうバスについて（総合政策部長）**
鈴木　梨央議員さんの「ゆうゆうバスについて」にお答えします。
鈴木さんには、ゆうゆうバスをご利用いただき、ありがとうございます。
ゆうゆうバスは、市内の交通不便地域の皆さんや、交通弱者といわれる子供や高齢者、障害者の皆様に利用いただくよう、現在6系統で運行しています。
鈴木さんのご指摘通り、利用者の増加は非常に重要な課題であり、江南地区を運行する「ほたる号」は、平成23年10月からの運行開始のため、みなさんに知られてい

ないことも、利用者が少ない原因と考えています。
　環境問題の視点からも、温室効果ガスの発生源となる自家用車の利用を減らし、バスや電車など公共交通の利用を増やすことは、非常に大切なことです。
　そのため、市報や市ホームページでお知らせする他、受験や夏期講習を控えた中学3年生にバスマップを配布するなど、もっとたくさんの皆さんに乗ってもらえるようPRに努めています。
　これからも、市内で行われる各種行事のチラシに利用案内や時刻表を掲載するなど、PRに努めるとともに、みなさんが利用しやすくなるよう路線見直しなども継続して検討していきたいと考えています。
　鈴木さんもお出かけの際には、ご家族やお友達に声をかけて頂き、みなさんで「ゆうゆうバス」を利用するようお願いします。

# 質問番号4　総務部関係

**議席番号15　吉岡中学校　反町（そりまち）　亮徳（あきのり）　議員**

**市の節電の取組みについて**

熊谷市は「あついぞ！熊谷」をキャッチフレーズに、「暑いこと」を逆手にとって市のPRをしています。そして、暑さの対策や熱中症対策に積極的に取り組んでいます。

我が国は「3．11」以降、ほとんどの原子力発電所が止まり、節電が求められています。

僕も節電には興味をもっています。そこで、市が取り組んでいる（取り組もうとしている）節電について教えてほしいと思います。

**答弁**

**（市長）**

反町　亮徳議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

熊谷市の節電の取組みについてですが、昨年は東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、夏の時期は、市役所など市の施設の室内温度を28度に設定したり、不必要な電気を消したり、グリーンカーテンを設置したりなど、皆さんの家庭・学校でも取組んでいるのと同様のことを行いました。

また、独自の取組みとしては夏の「クールビズ」や冬の「ウォームビズ」として職員の服装を季節に合わせて一定の自由さを持たせたほか夜間等の電力消費を減らすため「節電ノー残業デー」というものも実施しました。

さらに、各課に節電の周知を図るための「節電推進員」をおき、職員一人一人の節電の徹底を図ってきたところです。

これらの取組みの結果、平成23年度は平成22年度に比べて1年間の使用電力量を市の施設全体では10．3％、市役所本庁舎では23．5％も削減することができました。

東日本大震災以降、我が国では電力と環境負荷の関係性を改めて考えることとなり、反町さんがお話しされたように節電に対する関心はますます高まってきていると思っています。

熊谷市も昨年取組んだ成果をもとに今年度は地球温暖化対策や省エネルギー対策として、さらに様々な工夫をこらしながら昨年を上回る目標を掲げて節電に努めているところです。

皆さんも家庭や学校で引き続き節電に協力をよろしくお願いします。

**議席番号15　吉岡中学校　反町　亮徳　議員**
**市の節電の取組みについて　（総務部長）**

反町　亮徳議員さんの「市の節電の取組みについて」にお答えします。

熊谷市では、昨年の東日本大震災に伴う電力不足に対応し、積極的に節電に取組んできました。

昨年度の具体的な節電の内容ですが、まず夏季は5月中旬から10月中旬までを期間として冷房の電力使用量を抑えるため、室温が28度になるように設定するとともに、午前11時から午後3時までの間は、1時間当たり15分ずつエアコンを停止させました。

そのほか、市役所に3基あるエレベーターのうち1基を停止したほか、室内の照明を6割程度に抑えるとともに、職員が席を離れるような場合は、パソコンの電源を切るなど小まめな節電を行いました。

冬季は12月から3月末までの間、 暖房の設定を、室温20度までとしました。こうした取組みの結果、1年間の使用電力量を前の年度に比べて市役所本庁舎では23．5％、金額にして232万7千円も削減することができました。

今年度も同様の取組みを進めていますが、新たなものとしては市役所本庁舎に、最大使用電力量を自動的に制御するデマンドコントローラーという機械を設置し、使用電力量が一定の範囲を超えると自動で冷房が停止するような仕組みを取り入れています。

さらに、本庁舎2階と3階の一部照明をLEDに変更するとともに、市役所地下駐車場の屋根で太陽光発電を行っています。

こうした一連の取組みにより、今年度の節電目標では、平成22年度に比べて使用電力量を26％削減しようとしています。

熊谷市ではこのように様々な節電に取組んでいますが、夏の暑さで有名なこともありますので、市の施設を利用する市民皆さんの健康を損なわないよう十分に注意しながらできるかぎりの節電をしていきたいと考えています。

# 質問番号5　市民部関係

**議席番号11　大麻生中学校　三村（みむら）　健人（けんと）　議員**

**熊谷市休日・夜間急患診療所の**
**夜間診療時間の延長について**

熊谷市休日・夜間急患診療所の夜間診療が終了した後は、当番になっている病院を受診することになっていますが、小児科が少なく、子どもの受け入れを拒否されるケースもあると聞いています。

子どもの場合、救急車を呼ぶほどでもないけれど、高熱や激しいおう吐などで、翌日まで待てず、悩むことがあります。夜間診療の時間を延長することはできますか。

**議席番号14　中条中学校　青木（あおき）　未希（みき）　議員**

**通学路に街灯を増やすことについて**

私の通学路は街灯が少ないです。冬は特に暗くなるのが早く、道が見えづらいのでこわい思いをしたことがあります。ですから、通学路に街灯を増やしていただきたいと思っていますが、可能でしょうか？

また、通学路に限らず、事故防止のために灯りの少ないところにも街灯を増やしていただけるとありがたいです。

**議席番号26　大里中学校　小池（こいけ）　美花（みか）　議員**

**自転車のマナーアップについて**

自転車で通勤できる人は、職場まで自転車を積極的に使うことにより、自動車の排気ガスや大きな交通事故は減らせます。また、大里中学校では、自転車マナーアップ推進校として、全校をあげて交通ルールやマナーを守った自転車の乗り方をしようと心がけています。熊谷市でも、「自転車のまち」を目指した取組みをしてみてはいかがでしょうか。

具体的な取組内容は、２つです。「自動車よりも自転車での通勤の推奨」と「市民全員で心がける自転車のマナーアップ」です。

**答弁**
**（市長）**
　三村　健人議員さん、青木　未希議員さん、小池　美花議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

　はじめに、三村さんの「熊谷市休日・夜間急患診療所の夜間診療時間の延長について」ですが、熊谷市では、医療機関が診療を行っていない日曜日などに、比較的軽症な患者さんを診療できるようにするため、熊谷市医師会等の協力をいただき、昭和53年4月に休日急患診療所を開設しました。
　その後、平成14年4月から、夜間も毎日診療を行う休日・夜間急患診療所へ拡充し、23年度の受診者は合計で9，188人と、大変多くの方に利用されています。
　これからも、市民の健康を守るため、引き続き休日・夜間急患診療所の医療体制の充実を図っていきたいと考えていますが、夜間診療時間の延長をするためには、医師の確保等、様々な課題を解決する必要があります。

　次に青木さんの「通学路に街灯を増やすことについて」ですが、熊谷市では、市民の皆さんが安心して暮らせる街づくりを目指し、様々な事業に取り組んでいますが、その一つとして、犯罪の起こらない環境を整備する目的で、通学路をはじめ暗くて危険な場所に防犯灯と呼ばれる街灯を設置しています。
　防犯灯の設置にあたっては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、原則として地域の自治会に設置をお願いし、熊谷市は設置費用などを支援しています。これからも地域と熊谷市が協力し、安心安全に暮らせる街づくりに取り組んでいきたいと考えています。

　次に小池さんの「自転車のマナーアップについて」ですが、熊谷市では、今年の交通安全スローガンを「自転車もマナー守って安全走行」と掲げ、交通安全運動や街頭での啓発などの際に、自転車のマナーアップの呼びかけをしています。
　また、今週の土曜日に、熊谷スポーツ文化公園を会場に熊谷市で初めて、「くまがや交通安全フェア」を開催します。このフェアは、「体験・学ぶ・楽しむ」をキーワードに、自転車や交通安全に関係する様々なコーナーを開設し、大勢の皆さんに参加してもらえるイベントとなっていますので、ぜひ小池さんも友達と一緒に参加してみてください。
　これからも、環境に優しい自転車の利用を推進するとともに、利用者が交通ルールやマナーを守り、エコで安全なまち熊谷を目指して取り組んで行きたいと考えています。

**議席番号11　大麻生中学校　三村　健人　議員**

**熊谷市休日・夜間急患診療所の夜間診療時間の延長について（市民部長）**

三村　健人議員さんの「熊谷市休日・夜間急患診療所の夜間診療時間の延長について」にお答えします。

熊谷市休日・夜間急患診療所の夜間診療は、熊谷市医師会へお願いして、執務する医師を選任していただき、午後7時30分から10時まで、毎日行っています。

現在、夜間診療は、14名の小児科専門医と37名の内科医等が当番制により執務していますが、医師は医療機関での診療終了後の夜間に執務していることから、夜間診療時間を延長すると、さらに長時間の執務になるため、延長は難しいと考えています。

なお、熊谷市消防本部では、「病院案内等テレホンサービス」で、それぞれの症状に対応できる診療可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

また、埼玉県小児救急電話相談では、お子さんが急に具合が悪くなったとき、すぐに受診した方が良いのか、家庭でどのように対処すればよいのかなどについて、看護師が毎日午後7時から翌朝7時まで電話相談に応じていますので、これらのサービスを活用してください。

**議席番号14　中条中学校　青木　未希　議員**

**通学路に街灯を増やすことについて（市民部長）**

青木　未希議員さんの「通学路に街灯を増やすことについて」にお答えします。

熊谷市は自治会と協力し、毎年、防犯灯を設置しており、昨年度は約 250 基を設置しました。現在、熊谷市内には、1 万 5 千基ほどの防犯灯があり、設置については、地域の状況を良く知っている自治会にお願いし、熊谷市では、設置費用の 2 分の 1 を限度に、自治会へ補助金を交付しています。

また、民家が少なく、自治会に設置してもらうことが適当でない場所や、通学路については、現地調査を実施し、熊谷市で設置することもあります。

下校時などに、暗く危険と感じるような場所がある場合は、保護者を通じて自治会の役員の方や学校の先生などに、防犯灯の設置について相談をしてください。

これからも、通学路などに防犯灯を設置することで、犯罪を未然に防ぐとともに、交通事故の防止に努めていきたいと考えています。

**議席番号26　大里中学校　小池　美花　議員**

**自転車のマナーアップについて　（市民部長）**

小池　美花議員さんの「自転車のマナーアップについて」にお答えします。

はじめに、自転車通勤の推奨ですが、最近、健康増進や環境への配慮などから、交通手段として自転車が注目されています。

熊谷市役所では、毎月第1水曜日をノーカーデーに指定し、職員に自転車などで

の通勤を呼びかけています。

また、国などと協力して、熊谷駅周辺の道路について、自転車レーン等の整備を検討し、自転車で快適に通行できるような環境づくりも進めています。

次に、市民全員で心がける自転車のマナーアップですが、携帯電話やイヤホンで音楽を聴きながら自転車を運転するなど、交通マナーを守らない方を多数見かけるようになりました。そのような状況の中、自転車が関係する交通事故は、平成23年が289人と前年より増加し、自転車のルール遵守とマナーアップに向けての取り組みが、これまで以上に必要となっています。

熊谷市では、市内の保育園や小・中学校で、園児や児童・生徒を対象とした交通安全教室をはじめ、高齢者自転車運転免許講習会などを開催し、自転車の運転ルールやマナーの啓発、普及に努めています。また、交通安全運動を年4回実施するほか、自転車安全利用の日などにチラシを配布し、自転車のマナーアップなどについて、街頭啓発キャンペーンを行っています。

これからも、自転車の関係する交通事故を減らすため、交通ルールとマナーの啓発、普及に取り組んでいきたいと考えています。

# 質問番号６　福祉部関係

**議席番号19　三尻中学校　田村（たむら） 恭志（たかゆき） 議員**

**子ども110番の家について**

毎日通る通学路の帰り道は、秋ごろからは真っ暗になってしまいます。しかし、一部の通学路には暗い道を照らしてくれる電灯が設置されていないところもあり、危険に感じることがあります。また、子ども１１０番の家が何軒かありますが、人がいるのか分からないような状態のものも見られます。

もしも不審者情報が入った時、すぐに逃げ込めるような子ども１１０番の家があると安心です。

熊谷市では、どのようなしくみ、基準で子ども１１０番の家を決めているのか教えてください。

**答弁**

**（市長）**

田村　恭志議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

田村さんからは、「子ども１１０番の家」の制度について質問をいただきましたが、子どもたちを巻き込んだ犯罪が全国各地で発生していることが、テレビや新聞などで毎日のように報道されています。

このようなことから、熊谷市では地域の方々の協力を得て、子どもたちを犯罪から守り安全を確保するため、様々な対策に取り組んでいますが、「子ども１１０番の家」も、その重要な対策の一つとなっています。

本年７月現在では、市内約２，１００件の普段在宅の御家庭や、商店、事業所等に「子ども１１０番の家」として御協力をいただいていますが、この制度がＰＴＡの皆さんの自主的な活動から始まり、全市的な広がりをみせたことや、地域の事情に合わせ、より早く適切に対応できるのはＰＴＡの皆さんであることから、その設置の決定や管理については、各小中学校のＰＴＡの皆さんにお願いしています。

子どもを犯罪から守るためには、地域全体で子どもたちを見守るネットワークづくりを進めることが必要です。これからも、子どもたちにとって、さらに安心・安全な「子ども１１０番の家」の設置となるよう、地域や学校、家庭と連携、協力を図って行きたいと考えています。

**議席番号19　三尻中学校　田村 恭志 議員**

**子ども110番の家について（福祉部長）**

田村　恭志議員さんの「子ども１１０番の家について」お答えします。

熊谷市では、子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになった時に、助けを求めて駆け込むことができるようにするため「子ども１１０番の家」を設置しています。

設置に当たっては、ＰＴＡの皆さんが主体となって、登下校時に在宅されている一般の家庭や商店、事業所などにお願いするとともに、誰にでも「子ども１１０番の家」であることが分かるようプレート掲示にも協力をいただいています。このように、もしもの場合には、どの「子ども１１０番の家」でも安心して駆け込めるよう配慮されていますが、田村さんの通学路などで、「子ども１１０番の家」が留守がちに見えたり、危険と感じるような場所に設置されていないなど、気になることを担任の先生にお話しいただければ、学校とＰＴＡの皆さんが連携し、改善していくことができます。

熊谷市としては、より利用しやすい「子ども１１０番の家」を目指していますので、生徒皆さんの目線による気づいた点を反映できるよう、学校やＰＴＡの皆さんを引き続き、支援していきたいと思います。

# 質問番号7　環境部関係

**議席番号2　荒川中学校　田代（たしろ） 綾（りょう） 議員**

**うちわ祭のポイ捨てについて**

毎年、熊谷市ではうちわ祭が行われ、とても盛り上がる行事の一つであり、大勢の人が市内、市外から集まります。

しかし、祭りのあとの国道や広場は、残念なことにポイ捨てが多いです。祭りの最中はゴミ箱も設置されていますが、捨てようと思っても近くにゴミ箱がなかったり、ゴミ箱を見つけてもゴミが溢れていたりなど、さまざまな問題点が見つけられると思います。熊谷市としては、何か対策はしているのでしょうか？

**議席番号8　熊谷東中学校　白川（しらかわ） 未彩（みさ） 議員**

**ムサシトミヨの保護研究活動について**

熊谷東中学校は昭和５９年４月１日に『ムサシトミヨ』保護研究委託契約書締結を熊谷市長と行いました。それ以来、全校でムサシトミヨの保護研究活動に取り組んでいます。本校では、来賓玄関口と校舎内中庭の池に約１００匹生息しています。

埼玉県の魚、熊谷市の魚として指定されているムサシトミヨを熊谷市全体で保護、また増やす取組みを市全体で行うことは可能でしょうか。

**議席番号9　玉井中学校　土屋（つちや） 真志（まさし） 議員**

**被災地の災害廃棄物受け入れの影響について**

昨年、東北地方を中心に大きな地震がありました。この地震で、東北では震度7、熊谷市でも震度5強の地震がありました。この地震により被災地では、災害廃棄物が大量に出てしまいました。

この災害廃棄物を熊谷市は現在受け入れていますが、その災害廃棄物を燃やすことによる、私たちの体への影響はありますか。

**議席番号17　別府中学校　森（もり） 隆浩（たかひろ） 議員**

**水に関するイベントについて**

熊谷市では「あついぞ！熊谷」という言葉があるように、とても暑いことで有名ですが、水に関するイベントが少ないように感じます。僕は、水泳をやっていますが、市民水泳大会しか知りません。

熊谷市は水に関するイベントを行い、暑さ対策をしようというイベント、もしくは計画がありますか。また、無い場合は、うまく荒川などを使ってイベントなどできないでしょうか。

**議席番号31　江南中学校　新井（あらい） 健（たける） 議員**

**熊谷市の環境保全への考え、取組みについて**

熊谷市の環境保全への考え、取組みについて質問します。

私たちの住んでいる町では、ホタルが生息しています。年に一度の「ほたる祭り」は中学生も参加し、地域の方々との交流も盛んに行われています。しかし、ホタルのエサとなるカワニナが少なくなり、ホタルの数も年々減ってきているように思えます。私も毎年「ほたる祭り」に参加しています。しかし、このままだとそのお祭りも縮小傾向になってしまいそうで、とても心配です。

熊谷市では、ホタルが生息している川に限らず、市全体の環境保全についてどのような考えをお持ちですか。また、環境保全のために、市で取り組んでいることがあれば、お聞かせください。

**答弁**

**（市長）**

田代　綾議員さん、白川　未彩議員さん、土屋　真志議員さん、森　隆浩議員さん、新井　健議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

最初に田代さんの「うちわ祭りのポイ捨てについて」お答えします。

関東一の祇園「熊谷うちわ祭り」には、県外からも大勢の皆様が熊谷市を訪れます。期間中には国道17号も交通規制され、山車や屋台の巡行にあわせ、見物客などで賑

わう活気あふれる熊谷市を代表するお祭りです。
　熊谷市では、気持ち良くお祭りを楽しんでいただけるよう、様々な団体と協力して取組んでいます。ゴミについては、ゴミ箱の設置、早朝のゴミ収集などを行っていますが、ゴミは指定されたところ以外には捨てない、という心掛けが大切であり、ポイ捨ての防止につながっていくと思います。

　次に、白川さんの「ムサシトミヨの保護研究活動」についてお答えします。
　「ムサシトミヨ」は、熊谷市の元荒川上流だけに生息する、大変貴重な魚であることから、埼玉県及び熊谷市の魚として指定されています。
　現在、県、市、地元の方々と力を合わせ様々な保護活動を行っており、熊谷東中学校、久下小学校、佐谷田小学校の「ビオトープ」でのムサシトミヨの保護研究委託もそのひとつです。
　ムサシトミヨが生息していくには、一定温度の水が必要であることから、現在の場所以外での生息は難しいと思いますが、これからも、県、ボランティア団体及び地元の皆様と協力して保護活動に取組んでいきます。

　次に、土屋さんの「被災地の災害廃棄物受入れの影響について」お答えいたします。
　東日本大震災により大きな被害を受けた地域が復興へと向かっていくためには、災害廃棄物の処理は大きな障害となります。
　熊谷市では、被災地の復興に少しでも役に立てればとの思いから安全を確認した岩手県野田村周辺の木くずだけを受け入れていますので安心してください。

　次に、森さんの「水に関するイベントについて」お答えします。
　熊谷市には、荒川、利根川をはじめ数多くの河川があります。川は、豊かな自然環境を育むとともに、産業の振興にもかかすことができません。
　「川遊び」という言葉がありましたが、現在は、川ではなく、プール、公園などで水と親しむ機会が多くなっているのではないかと思います。
　熊谷市では、これからも豊かな水辺空間で行われる市民の皆様の活動やイベントなどを応援していきたいと考えています。

　次に、新井さんの「熊谷市の環境保全への考え、取組みについて」お答えします。
　江南地域の「ほたる祭り」は、今年は併せて「ｷｬﾝﾄﾞﾙﾅｲﾄ」も行われ、大変な賑わいでした。ホタルの数も昨年と比べて増加しました。
　熊谷市は古くから農業用水路が発達し、昔は、様々な場所でホタルが見られました。しかし、都市化の進行とともにホタルとの共存は難しくなっています。
　熊谷市では、これからも里山の保全、水質の浄化などに取り組み、自然環境の保全を図っていきたいと考えています。

**議席番号２　荒川中学校　田代　綾　議員**
**うちわ祭のポイ捨てについて（環境部長）**
　田代　綾議員さんの、「うちわ祭のポイ捨て」について、お答えします。
　関東一の祇園祭と称される「熊谷うちわ祭」には、大勢の皆様が熊谷市を訪れま

す。
　今年も3日間で延べおよそ70万人の皆様に楽しんでいただきました。
　田代さんのご指摘のように、人出とともに発生するごみの量も増加し、散乱しているごみも目立ちます。
　熊谷市では、ごみのないきれいなお祭りとするため、清掃活動を行なっています。
　ボランティアの方による、ごみを拾いながら巡行する護美山車（ごみだし）をはじめ、日本たばこ産業株式会社、立正大学と一緒に行なっている「ひろえば街が好きになる運動」に、今年は、1,150名の方に参加していただきました。また、早朝、職員による特別清掃も行なっています。
　ごみについて一人ひとりの意識が高まり、ポイ捨てをなくすことが、気持ちの良いきれいなまちをつくります。先ずは、大人が子供達に見本を示すことが大切であると思います。
　熊谷市指定無形民俗文化財に指定されました「熊谷うちわ祭」が、ごみのないきれいな祭りとなるよう市民の皆様と力を合わせ、取り組んでいきます。

**議席番号8　熊谷東中学校　白川　未彩　議員**
**ムサシトミヨの保護研究活動について（環境部長）**
　白川　未彩議員さんの質問「ムサシトミヨの保護研究活動について」お答えします。
　現在、ムサシトミヨは、元荒川の最上流部に生息しています。
　ムサシトミヨ保護センターでは、専門的な知識を有する職員により繁殖実験などを行っています。また、生息地に近い熊谷東中学校、久下小学校、佐谷田小学校では、児童・生徒の皆さんによる校内増殖活動に取組んでいただいています。
　ムサシトミヨが生息していくには、一定温度のきれいな水が必要不可欠です。このため、水質の浄化に効果のある合併処理浄化槽の普及を進めるとともに、保護センターでは、1日あたり約6,000トンの地下水を汲み上げて生息環境を維持しています。参考までに熊谷東中学校のプール約14杯分の水量となります。
　ムサシトミヨの増殖区域を拡大するには、水の確保や管理体制など様々な課題があり、現在では、むずかしいと考えていますが、ムサシトミヨをより多くの方に知っていただくため、これからもエコライフフェアやムサシトミヨ観察学習会などで情報発信していきます。
　白川さんも熊谷東中学校での増殖活動に引き続き協力をお願いします。

**議席番号9　玉井中学校　土屋　真志　議員**
**被災地の災害廃棄物受け入れの影響について（環境部長）**
　土屋　真志議員さんの、「被災地の災害廃棄物受け入れの影響」について、お答えします。
　熊谷市では、岩手県野田村周辺の津波により発生した木くずを受入れています。
　この木くずは、市内のセメント工場でセメントを造る際の燃料及び原料として処理されています。
　木くずの安全性を確認するため、熊谷市、岩手県、埼玉県、セメント工場ではさまざまな測定を行い分析し、その結果をお知らせしています。これまでの測定では、国、県、市などの定める基準を大きく下回っていますので、安心してください。

熊谷市では、昨年の6月から保育所、幼稚園、小中学校などの施設を中心に、空間放射線量の測定を開始し、現在、市内111か所で定期的な測定をしていますが、木くずの受入れにあわせ、8月末から工場周辺の11地点でも測定しています。

測定結果は、できるだけ早く市のホームページで公表するとともに、市報でもお知らせしています。また、今年の4月からは、24時間、365日大気中の放射線量を測定する「モニタリングポスト」が、市のほぼ中央に位置する埼玉県の施設に設置され、測定結果は、文部科学省のホームページでリアルタイムにお知らせしていますので、土屋さんもぜひ一度ご覧ください。

これからも、熊谷市では市民の皆様の安心、安全を第一に考えながら、被災された地域が復興していくことを応援していきたいと考えています。

**議席番号17　別府中学校　森　隆浩　議員**

**水に関するイベントについて（環境部長）**

森　隆浩議員さんの質問「水に関するイベントについて」お答えします。

熊谷市では、くまがや打ち水大作戦を始めとして、様々な水に関するイベントが行われています。例えば、夏休み親子水辺観察会、ムサシトミヨ観察学習会、星川灯篭流し、子供短期水泳教室などです。

くまがや打ち水大作戦は、市民団体が中心となり、熊谷駅前や星川通り等の中心市街地で、打ち水を行い、電気等のエネルギーを使用しないエコロジーな暑さ対策をアピールするイベントです。また、夏休み親子水辺観察会は、荒川及び元荒川で、水質調査や水中生物の観察を行い、自然の大切さを親子で再認識していただくイベントです。

こうしたイベントは、市報やホームページでPRしていますので、森さんも、ぜひ参加してください。

**議席番号31　江南中学校　新井　健　議員**

**熊谷市の環境保全への考え、取組みについて（環境部長）**

新井　健議員さんの質問、「熊谷市の環境保全への考え、取組みについて」お答えします。

熊谷市では、平成20年3月に環境基本計画をつくり、本市の将来の環境像を「きらめく大河とやすらぎの緑のふるさと　未来へ育み伝える　環境共生都市熊谷」と定め、4つの環境目標を立て、取り組んでいます。

目標のひとつは、豊かな自然環境の保全です。

里山を保全する活動、農薬を控える取組み、川を汚さない行動などがホタルの生息できる自然環境の保全につながっていると思います。

熊谷市では、「熊谷市ホタルの保護に関する条例」に基づき、これからも地元の皆様と力を合わせ、ホタルの捕獲やカワニナの採取を禁止するとともに、生息数を調査しながらパトロール活動などを行っていきます。

ホタルは自然環境のバロメーターでもあります。新井さんも保護活動に協力してください。

# 質問番号8　産業振興部関係

**議席番号16　吉岡中学校　小久保（こくぼ）　日奈子（ひなこ）　議員**

**熊谷市を発展させるための方法について**

国道１７号線沿いや鎌倉町通りの商店街の中には、シャターが閉まった店が目立ちます。また、新幹線が停車する駅があるにもかかわらず、人口の大幅な伸びがないことから、熊谷市を発展させるための方法を知りたいと思い質問しました。

**議席番号18　別府中学校　中島（なかじま）　麗（うらら）　議員**

**熊谷名物を利用しての市のアピールについて**

B級グルメなどで、いい成績を残した町はとても人気があります。

そこで、大人や子どもにも人気のあるメニューで公募して実施すれば、町おこしにつながるのではないでしょうか。また、現在では「雪くま」、「熊谷ホルどん」、「くま辛」などがありますが、どのお店で提供しているのか、どんなものなのか、まだまだ十分に知られていないと思います。専門店や営業所を作ったり、イベントをもっと増やしたりすることはしないのですか。

**議席番号23　大幡中学校　柴崎（しばさき）　恭兵（きょうへい）　議員**

**七夕祭りの開催について**

7月7日前後に毎年行われている深谷市の七夕祭りですが、熊谷市民が深谷に出向くのではなく、自分たちの故郷である熊谷市で七夕祭りを開き、うちわ祭りのように関東の中でも有名な七夕祭りを作ってほしいです。

**議席番号27　妻沼東中学校　田部井（たべい）　大和（やまと）　議員**

**妻沼聖天山の国宝指定について**

今年、旧妻沼町にある聖天山歓喜院聖天堂が国宝に指定されました。しかし、観光客の方はお年寄りばかりが目立ち、若い世代が少ないように思えます。

そこで、地元に住む僕としては、もっと若い世代の人たちにも興味を持ってほしいと思っています。

熊谷市では、聖天山への若い観光客が増えるような取組みや対策などはあるのですか。

**答弁**

**（市長）**

小久保　日奈子議員さん、中島　麗議員さん、柴﨑　恭兵議員さん、田部井　大和議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは副市長及び担当部長からお答えします。

小久保さんの質問の「熊谷市を発展させるための方法について」ですが、熊谷市を支える大きな要素として人口があります。

熊谷市を発展させるためには全国的に減少期にある人口を保ち、さらに増加させることが必要であると考えています。

そこで熊谷市では皆さん方、中学生までの医療費を無料化するなど子育てを応援する事業や、スマートタウンという自然エネルギーを活用した住宅地域を整備する事業、市の収入を増やし、市民の働く場を確保するため企業を誘致する取り組みなどを行っています。さらに、今後、新県立図書館を含む北部地域振興交流拠点施設を市役所通りと国道17号の交差点にあるコミュニティひろばに建設するなど中心市街地の活力やにぎわいを創出する事業を進め、さらなる熊谷市の発展を目指していきます。

中島さんの質問の「熊谷名物を利用しての市のアピールについて」ですが、熊谷市には埼玉の三大銘菓に数えられ、昔から親しまれている「銘菓五家宝」や独特の大きさの妻沼の「いなり寿司」、小麦の生産量が県内トップという地域特性に根差した「フライ」など、たくさんの名物があり、市内外でのイベントへの出店などによりPRに努めています。また、最近では全国的なB級グルメブームを受けて、「雪くま」や「ホルどん」などの新しい品目が開発され、多くの方々に楽しんでいただいています。

「食」を通した情報発信はPR効果が大きいことから、今後もこれら名物やグルメを活用して熊谷市をアピールし、地域の活性化とまちおこしにつなげていきたいと考えています。

柴﨑さんの質問の、「七夕祭りの開催について」ですが、熊谷市でも過去には市役所西側の箱田通りや妻沼の聖天様周辺などで、七夕祭りが開催されていました。
こうした地域の行事やお祭りは、地域の皆さん、自らが運営の原動力ですので、地域での気運の盛り上がりと歩調を合わせて熊谷市としての支援を考えていきたいと思います。

田部井さんの質問の「妻沼聖天山の国宝指定について」ですが、今回の国宝指定は建造物として県内初のことであり、今後、地域振興、観光振興に大いに生かしていきたいと考えています。また、聖天山を表紙にして、若い世代に人気の観光雑誌「るるぶ」の熊谷版を作成しました。本日、皆さんのお手元にお配りしましたので、是非、ご覧になってください。
今回、皆さんに提案していただいた意見を生かしながら、熊谷市のにぎわい、活力を向上させ、そこに暮らす皆さんが誇りを持てる「ふるさと熊谷」を確立し、皆さんの世代に引き継ぎたいと考えています。

**議席番号16　吉岡中学校　小久保　日奈子　議員**
**熊谷市を発展させるための方法について（産業振興部長）**
小久保　日奈子議員さんの「熊谷市を発展させるための方法について」にお答えします。
はじめに、まちなかの現状について申し上げますと、シャッターの閉まった店、いわゆる「空き店舗」は、熊谷駅周辺から八木橋百貨店周辺のまちなか26商店街の394店舗のうち、75店舗、おおよそ5件に1件の割合で発生しています。また、自転車を含め、そこを歩く人の数は、平成12年の半分弱となっています。
一方、小久保さんがおっしゃるとおり、JR熊谷駅は、新幹線の停車駅でもあり、高崎線のなかでは、大宮駅、上尾駅に次ぐ、1日約3万人もの乗客数を誇っています。
質問の「熊谷市を発展させるための方法」のひとつとして、交通の便の良さや大型商業施設の集積などの熊谷市のメリットを活かしながら、まちなかの賑わいを復活させようと、現在、中心市街地の活性化計画を検討しています。
計画では、新たな県立図書館や郷土館、にぎわい施設を集合させた「北部地域振興交流拠点施設」の整備をはじめ、自転車レーン整備や歩道のバリアフリー化事業のほか、地域のつながりやおもてなしの心を結集した60を超える事業の展開を、これからの5年間で予定しており、「住んでみたい街、行ってみたい街」を目指して、市民や企業の皆さんと一体になって、取り組んでいきたいと考えています。

**議席番号18　別府中学校　中島　麗　議員**
**熊谷名物を利用しての市のアピールについて（産業振興部長）**
中島　麗議員さんの「熊谷名物を利用しての市のアピールについて」にお答えします。
中島さんの質問のとおり、B級グルメ大会や物産展などの「食」をテーマにした催し物には、大勢の人を引き寄せる魅力があります。
熊谷市でも昨年から、「熊谷B級グルメ大会～うまいもの祭り」を開催していますが、

今年5月の「第2回大会」では、約4万人の方々に来場していただき、熊谷のうまいものを味わい、楽しんでいただきました。

この大会では、「新作発表」部門を設けて、人気投票を行い、優勝したグルメは新聞や雑誌など多くのメディアに取り上げられ、お客さんも増えたと聞いています。また、そのグルメは熊谷市を訪れる魅力のひとつとして、熊谷市のPRになっています。来年の大会でも、皆さんに楽しんでいただける工夫をして、「まちおこし」につなげていきたいと考えています。

次に熊谷名物のPRですが、熊谷市のホームページや観光ガイドマップなどで紹介し、情報発信に努めています。特に「雪くま」や「熊谷ホルどん」は毎年7月に食べ歩きマップを作り、熊谷市だけでなく近隣の深谷市や東松山市、行田市の新聞にも折り込み、PRしています。

名物を利用して市のアピールを行う場合、熊谷市としては、まず、大勢の方に名物を知っていただき、熊谷市に来ていただくことが大切であると考えていますので、お店を作ったり、イベントを増やすことも、こうした視点から考えていきたいと思います。

**議席番号23　大幡中学校　　柴﨑　恭兵　議員**

**七夕祭りの開催について（産業振興部長）**

柴﨑　恭兵議員さんの「七夕祭りの開催について」お答えします。

柴崎さんのおっしゃるとおり、深谷市や宮城県仙台市のように、七夕祭りで大変な賑わいを呼んでいるところもございます。しかし、こうしたお祭りは、古くからの風習や信仰行事として行っていたものを、街の活性化を目的として、地域の人の思いが集まって、盛大に実施するようになったものが多いようです。

熊谷市でも過去には、七夕祭りを実施していた地域もありましたが、やはり、お祭りは地域の歴史や風土に根差したものであり、本来は、その地域の方々のためのものです。

こうした地域の方々の思いが集結し、お祭りを開催していこうとする気運が高まっていくようであれば、熊谷市も支援していきたいと考えています。

熊谷市では、「さくら祭」や「うちわ祭」等の歴史あるお祭りを大切にしながら、一方で、賑わいを呼び、地域経済の振興にもつながる「B級グルメ大会」のような、新しいイベントにも取り組んでいます。

11月には、この後「産業祭」が、また、12月から新年にかけては各地域の神社やお寺を中心としたお祭りが開催されますので、柴﨑さんも、ぜひ、家族やお友達とご一緒に参加いただき、熊谷のお祭りをさらに多くの方に、ご紹介していただければと思います。

**議席番号27　妻沼東中学校　田部井　大和　議員**

**妻沼聖天山の国宝指定について（副市長）**

田部井　大和議員さんの「妻沼聖天山の国宝指定について」にお答えします。

今年7月に国宝に指定された歓喜院聖天堂は、新聞やテレビ等での報道以来、大勢の方々が見学に訪れています。

歓喜院の国宝指定を活かし、若い世代の観光客をはじめ、多くの方に熊谷の魅力を広く知ってもらうため、熊谷市観光協会では観光情報誌として知名度の高い「るるぶ」

の熊谷版を発行しました。

この「るるぶ熊谷」は、妻沼聖天山をはじめとした市内の旬な観光、グルメ情報が掲載された魅力ある内容となっており、市内公共施設をはじめ、JR高崎線の各駅、埼玉県内2箇所の高速道路サービスエリアや北関東のJTB支店など、市外の施設にも広く配布しています。

このほか、「聖天堂国宝記念」観光PR事業として、JR東日本高崎支社管内をはじめ、首都圏にある148の駅に歓喜院のポスターを掲出することにより、県内はもとより県外からの観光客誘致に取り組んでいます。

聖天山は、縁結びの神様としても有名で、家内安全、商売繁盛、学業進学などあらゆる縁結びに御利益があると言われています。縁結びと聖天山周辺のイベント、グルメといった妻沼地域の魅力を結びつけ、広く宣伝することにより、若い世代の方はもちろん幅広い年齢層の観光客誘致に努めていきたいと考えています。

# 質問番号９　都市整備部関係

**議席番号22　奈良中学校　松本（まつもと） 彩花（あやか） 議員**

**自転車専用道の設置について**

普段から県道太田熊谷線を通る時、自転車の通るスペースが狭すぎて危険だと感じています。自転車のスペースが狭すぎるため、ガードレール内を通る自転車さえあります。これでは、歩行者は安心して通行できません。特に、小学生以下の小さい子や、お年寄りにぶつかったりしたら大けがにつながってしまいます。

そこで、歩行者の通るスペース（歩道）と自転車の通るスペースをしっかりと区別した方が良いと思いました。

県道太田熊谷線に自転車専用道を作ることは可能でしょうか。また、熊谷市としては自転車専用道の設置についてどのように取り組んでいますか。

**答弁**

**（市長）**

松本 彩花 議員さんの質問に私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

自転車は、環境に優しく健康にも良い乗り物として、利用者が増えています。その一方で、自転車の関係した交通事故が急増し、自転車が安全に通行できる環境の整備が急がれています。

熊谷市は、快晴日数も多く、地形的にも平坦ですので、自転車利用に適したまちと考えています。また、熊谷市のまちづくりのビジョンを示した「熊谷市総合振興計画」の中で、自転車道のネットワーク化の検討を位置づけています。

今年1月開催されたジュニア議会においても、「歩行者や自転車にやさしい、交通事故が少ない安全なまちをつくること」が決議されています。熊谷市は、平成20年1月に、国の「自転車通行環境整備モデル地区」の指定を受け、国、県、市が協力して、まちなかの自転車道整備、バリアフリー整備、景観整備などについて考える「熊谷市道路空間整備推進委員会」を設置し、熊谷駅周辺の国道、県道、市道を結ぶ自転車道ネットワークについて、検討・調査を行っています。

自転車道等の整備につきましては、国・県と連携をしながら、中心市街地から取組みを始め、順次、周辺部も含めネットワークを広げていきたいと考えています。

**議席番号22　奈良中学校　松本　彩花　議員**

**自転車専用道の設置について（都市整備部長）**

松本　彩花　議員さんの「県道太田熊谷線への自転車専用道設置の可能性について」にお答えします。

歩行者と自転車の交通事故が急増している状況の中で、歩行者の通るスペースと自転車の通るスペースをしっかりと区別することは、歩行者が安心して安全に通行するうえで、大変効果的な方法であると考えています。

熊谷市では、スポーツ・レクリエーションの場となっている荒川、利根川、史跡、公園などを結ぶ自転車道のネットワーク化を進めるにあたり、すでにある道路や計画している道路等を活用した自転車道の整備を検討しています。

奈良地区を通る東武熊谷線跡地の緑道もその候補として熊谷市総合振興計画に位置づけています。

松本さん質問の県道太田熊谷線への自転車専用道の設置についてですが、ご指摘の場所は、道路の幅が狭く、歩行者と自転車の通るスペースを区分するためには、道路を広げる必要があります。しかし、道路を管理しています埼玉県では、この部分の新たな整備は計画されていないとのことです。従って、歩行者や自転車が安心して通行できる安全対策について、様々な観点から検討していきたいと考えています。

# 質問番号10　教育委員会関係

**議席番号3　富士見中学校　堀越（ほりこし）　秀人（しゅうと）　議員**

**東日本大震災の復興支援について（修学旅行）**

東日本大震災が起こってから、1年8か月が経ちました。当初は日本国中あげて支援の輪が広がりました。熊谷市でも、旧市立女子高に被災者の方々を迎えるなど積極的に支援しました。しかし、最近では、新聞報道などでも、大震災の話題は少なくなっています。

東北の人たちは、震災前の生活にどれだけ戻れたでしょうか。そこで、東北の復興のために、熊谷市でも、長期的で粘り強い支援が必要だと思います。ぼくたちも、できる範囲の支援をしたいです。東日本大震災を風化させないためにも、東北の子どもたちと交流を深め、友好の輪を広げることが必要だと考えます。

そこで、熊谷市の小・中学校の修学旅行で東北地方に行くことを提案します。

修学旅行では、東北の文化と伝統を学ぶと共に、被災者の方々の話を伺って震災の怖さを知ることで、今後のぼく達の将来に生かせると思います。熊谷市が全国に先駆けて、このような行動に移していくことを期待します。

**議席番号7　熊谷東中学校　間瀬（ませ）　湧平（ゆうへい）　議員**

**ラグビーを盛り上げるためのイベントや交流試合について**

私は早稲田大学や明治大学の試合を見たことがあります。しかし、それ以外の大学の試合を見たこと、イベントに参加したことがありません。

埼玉県のラグビーを盛り上げるために、私たちが参加できるものはないでしょうか。

私は熊谷東中学校のラグビー部に所属しています。現在もいくつかの学校と交流試合をしていますが、県外の学校と交流試合をしたいと思います。ご検討ください。

**答弁**

**（市長）**

堀越　秀人議員さん、間瀬　湧平議員さんの質問に、私から全般的にお答え

し、詳しくは教育長からお答えします。
　皆さんからの質問には、自分たちの学校だけでなく、熊谷市をはじめ東北地方や日本全体のことを考え、有意義な学校生活を送りたいという前向きな気持ちがあふれていて、市長として大変心強く感じました。

　堀越さんの「東日本大震災の復興支援」については、熊谷市では、事業者団体や医療・福祉支援団体、市民や市などが連携して、被災された方々の支援として「東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク」が設立され、居住や生活、教育など積極的に支援しています。
　中学生の皆さんがアイデアを出し合い、各学校で継続した支援を考え、取り組んでいくことは大変素晴らしいと思います。

　間瀬さんの「ラグビーを盛り上げるためのイベントや交流試合」については、皆さんが住んでいる熊谷市は「ラグビータウン熊谷」を掲げ、スポーツによるまちづくりを推進しています。また、世界の三大スポーツイベントである「ラグビーワールドカップ２０１９」日本大会の試合を熊谷ラグビー場へ招致する活動を進めています。
　ラグビーを盛り上げるということは、熊谷市を盛り上げるということでもあります。毎年春には、「春の高校日本一」を競う「全国高校選抜ラグビー大会」が開催されており、名実ともに「西の花園」「東の熊谷」と言われている熊谷ラグビー場で開催される様々な大会に、多くの皆さんが足を運び、声援を送ってほしいと思います。

**議席番号3　富士見中学校　堀越　秀人　議員**
**東日本大震災の復興支援について（教育長）**
　堀越　秀人議員さんの「東日本大震災の復興支援について」にお答えします。
　堀越さんのように、熊谷の小・中学生が、被災された東北の復興を自分たちの問題として捉えることは、大変すばらしいことと思います。また、修学旅行をはじめ臨海学校や林間学校等で現地を訪問し、被災者の方々の話を伺ったりボランティアに参加したりすることは、かけがえのない社会体験の機会になると思います。
　熊谷市教育委員会では、堀越さんの提案を受け、改めて修学旅行や学校行事の目的をはじめ、実施場所や方法について見直したいと思います。また、東日本大震災の復興支援として、例えば、被災地の子どもたちと手紙やテレビ電話等を活用した交流会を設けたり、被災地の方に講演を依頼したりして、東北と熊谷との友好関係を深めていくことについても、校長先生方と一緒に検討してみたいと思います。

**議席番号7　熊谷東中学校　間瀬　湧平　議員**

**ラグビーを盛り上げるためのイベントや交流試合について（教育長）**

間瀬　湧平議員さんの「ラグビーを盛り上げるためのイベントや交流試合について」お答えします。

はじめに、「埼玉県のラグビーを盛り上げるために参加できるもの」ですが、まずは、熊谷スポーツ文化公園ラグビー場で開催される、大学や高校の大会を、たくさん観戦してほしいと思います。また、熊谷ラグビーまつりやスポレクフェスティバル　タグラグビー大会、熊谷市長杯ラグビー７人制大会、埼玉ラグビーフェスティバルも実施されていますので、これにも友だちを誘って、積極的に参加してください。

次に、通常行われている練習試合は、学校同士の話し合いで行っています。また、県外のチームも含め、いくつかのチームが集まって実施される交流大会を実施するとしたら、熊谷市ラグビーフットボール協会が開催することになります。間瀬さんの思いを協会に伝えたいと思います。

これからも、さらに強くなって、先輩の堀越正巳さんのように、埼玉県のみならず、世界で活躍する熊谷ラガーマンを目指し、がんばってください。応援します。

# 質問番号11　教育委員会関係

**議席番号10　玉井中学校　塚田（つかだ） 枝里奈（えりな） 議員**

**小・中学校のエアコン設置について**

今年から小・中学校にエアコンが設置されました。そこで、エアコンを設置してしまったら、外で遊ぶ子どもが少なくなり、体育などで体を動かす時に、夏バテをおこしてしまうと思います。

熊谷市ではどのような考えでエアコンを設置したのですか。教えてください。

**議席番号20　三尻中学校　江幡（えばた） 咲希（さき） 議員**

**図書館の利用・設置について**

熊谷市には、熊谷・妻沼・大里・江南図書館があります。これらの図書館のうち３つは、熊谷市に合併されたものです。そのため、市域からみると西部地区には図書館がありません。新たに図書館を設置するとバランスがとれるのではないかと思います。

私のまちには熊谷文化創造館さくらめいとがあります。ここは多くのコンサートや文化学習活動に利用されているので、沢山の人が訪れます。また、周りには籠原駅を利用する多くの学生や、小学校、中学校、高校、保育施設や専門学校などがあります。

図書館があれは、多くの学生が学習する場として利用することができます。緑多い素晴らしい環境の中で本と触れ合うことができたらと思います。

**議席番号25　大里中学校　武田（たけだ） 拓己（たくみ） 議員**

**小・中学校への太陽光パネルの設置について**

熊谷市の節電への取組みはどんなことがあるのでしょうか。何か計画はありますか。

私は、学校の屋上に太陽光パネルの設置を進めるのはどうかと思います。学校には、太陽光パネルを設置するスペースがあります。それにより、普段の電力を少しでも賄えるのではないでしょうか。また、学校は災害時に避難場所になります。非常時に自家

発電ができれば、多くの人を救うこともできます。
　さらに、日本一暑い町として有名な熊谷市は、十分な日照時間が望めると思いますので、この取組みは効果的に機能し、全国に注目されることと思います。
　以上のことから、これからの時代は太陽光パネルを学校に設置するのは意義のあることだと思います。

**議席番号28　妻沼東中学校　谷津（たにつ）　絵里（えり）　議員**

**新しい机と椅子の設置について**

　私の学校の机と椅子は古く、板の表面が剥がれてしまっています。剥がれてしまっている所がギザギザしているため、制服やジャージが擦れてしまいます。
　学習においても落ち着かず、表面がでこぼこのために、下敷きなしでは、プリントに文字を記入することも大変です。気持ちの良いものではないので、直してほしいと思います。
　そしてなにより、特別教室で、使用できる椅子が少なく、数が足りないというのが現状です。

**答弁**
**（市長）**
　塚田　枝里奈議員さん、江幡　咲希議員さん、武田　拓己議員さん、谷津　絵里議員さん、の質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは教育長からお答えします。

　はじめに、塚田さんの「小・中学校のエアコン設置について」ですが、小・中学校にエアコン設置を設置した理由としては、「日本一暑いまち」の子どもたちに、暑さの負担を和らげ、快適に学習に取り組める環境を整えるためです。
　皆さんの健康を第一に考え、より良い環境の中で学習に励んでほしいと考えています。

　次に、江幡さんの「図書館の利用・設置について」ですが、熊谷市では、合併により4つの図書館（熊谷・大里・妻沼・江南）となりました。
　図書館に関して、市域全体からみると、人口の多い西部地区には図書館が設置されていませんので、設置すればバランスがとれるのではないかという考えは理解できます。しかし、図書館の設置には、多額の費用が必要となります。
　熊谷市では、現在、小中学校の屋内運動場の耐震化事業など、緊急性のある事業を優先して実施していますので、新たな図書館の設置は、当分の間は難しいと考えます。

そこで、図書館では、ソフト面から、西部地区の図書館サービスの向上に努めています。教育長から、現在、西部地区で利用可能な図書館サービスを紹介しますので、活用してください。

次に、武田さんの「小・中学校への太陽光パネルの設置について」ですが、太陽光発電設備の学校への導入については、地球温暖化などの問題に役立つよい方法の一つだと思い、屋内運動場の改築に合わせ、現在までに9校の学校に設置しました。
今後も屋内運動場の改築に合わせて設置していきます。

次に、谷津さんの「新しい机と椅子の設置について」ですが、熊谷市では、児童・生徒の皆さんが、安全で、快適な学校生活が送れるよう、毎年、さまざまな事業に取り組んでいます。
快適な学習環境を整備するため、日々、使用する机や椅子についても、痛みの激しいものから、入替えや修繕を行っていきたいと考えています。

**議席番号10　玉井中学校　塚田　枝里奈　議員**
**小・中学校のエアコン設置について（教育長）**
塚田　枝里奈議員さんの「小・中学校のエアコン設置について」にお答えします。
小・中学校のエアコンは、日本最高気温 40.9 度を観測した熊谷市で、児童・生徒の皆さんを熱中症等の危険から守り、快適な環境で学習に取り組んでいただくために設置したものです。
塚田さんのご質問にありましたように、エアコンを設置したことで、外遊びをする子が減ってしまうのは困ります。
教育委員会が各学校に行ったアンケートの結果では、「教室が涼しいので、外で思い切り汗をかけるようになった」とか、「外の活動後にすぐにクールダウンできて、授業に集中できる」という意見が寄せられています。そのほかにも、「暑さで体調を崩すことが減った」とか、「給食がおいしく食べられるようになった」などの意見が多数寄せられたことからも、エアコンの設置効果は非常に大きいものと考えています。
これからも、教室を冷やしすぎないよう、皆さんの健康を第一に考え、扇風機や、みどりのカーテンなど、エアコン以外の暑さ対策を組み合わせながら、節電と快適な学習環境とを両立していきたいと考えていますので、皆さんには、今まで以上に集中して授業に取り組んでいただきたいと思います。

**議席番号20　三尻中学校　江幡　咲希　議員**
**図書館の利用・設置について（教育長）**
江幡　咲希議員さんの「図書館の利用・設置について」にお答えします。
熊谷市では、合併により、4つの図書館(熊谷・大里・妻沼・江南)と1台の移動図書

館(さくら号)で市民の皆さんに図書館サービスを提供しています。

ご指摘のとおり、西部地区には図書館が設置されていません。しかし、新たな図書館の設置は、すぐには難しいことから、熊谷市では、西部地区の図書館サービスの向上に努めています。

現在、利用可能な図書館サービスを紹介しますので、活用してください。

初めに、インターネットを使った資料検索と予約ですが、自宅のパソコンや携帯電話から4つの図書館の本や視聴覚資料の検索と予約ができます。

次に、予約した資料の受取りですが、平成24年7月から、さくらめいとで受取ることができます。借りた資料の返却ですが、さくらめいとと籠原駅北口の返却ポストで返却することができます。

また、移動図書館「さくら号」は、西部地区を重点的に巡回しており、来年度は、新たに籠原体育館を追加する予定です。

これからも、西部地区の図書館サービスの向上に努めていきますので、さらに利用してください。

**議席番号25　大里中学校　　武田　拓己　議員**

**小・中学校への太陽光パネルの設置について（教育長）**

武田　拓己議員さんの「小・中学校への太陽光パネルの設置について」にお答えします。

熊谷市の節電への取組みとしては、学校をはじめ、市有施設のエアコンの室内設定温度を、28度とし、照明節電のため、照明機器の4割の消灯を実施しています。また、公民館の外灯や市役所本庁舎の蛍光灯の一部をLEDに取り替え、学校の職員室や各課のパソコン等の使用時間の短縮や節電ノー残業デーの実施等を行うなど、様々な取組みを行っています。

質問の太陽光パネルの学校への設置については、屋内運動場を建替える際に、その建築工事に併せ、屋根などに、太陽光発電設備を設置し、皆さんの環境教育に役立てるとともに、学校の電力の一部を補っています。

現在まで、9校の学校に太陽光発電設備を設置し、今年、建築している3校にも設置します。また、今後、建替えを予定している学校についても設置していく考えでいます。

**議席番号28　妻沼東中学校　　谷津　絵里　議員**

**新しい机と椅子の設置について（教育長）**

谷津　絵里議員さんの「新しい机と椅子の設置について」にお答えします。

皆さんが毎日使用する机や椅子の状況については、私も学校訪問などで確認しています。

一部、傷みの激しいものや、サイズがやや小さい旧規格のものを使っている状況については、大変申し訳なく思っています。

今年度の教育委員会の調査によると、谷津さんの妻沼東中学校では、453脚が、古い規格のものでした。

これらを全て新品に入れ替えることは、多額の予算が必要となるため困難な状況です。そこで、机を再生させる方法として、来年度、机の天板のみを交換することにしています。

なお、現在のところ、椅子の座板・背板の入替については状態の悪いものから、段階的に入替えや修繕を行うことを考えています。もう少し待ってください。

# 質問番号12　消防本部関係

**議席番号13　中条中学校　渡邊（わたなべ）　澪樹（みおな）　議員**

**救命講習の回数について**

今年「暑さに負けるな中学生事業」で、熱中症の対策やAEDの使い方について学びました。このとき、みんなで協力して心臓マッサージを行い、最後にはAEDによる電気ショックの操作のしかたも体験しました。

この経験から、常にお互いを助けられるような知識・経験を身に付けておくことが大変重要だと思いました。そこで、年に1回だけでなく、このような講習会を年に数回実施していただきたいと思いました。いかがでしょうか。

**答弁**

**（市長）**

渡邊　澪樹議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは消防長からお答えします。

まずは、「暑さに負けるな中学生事業」を通じ、救命の重要性を理解していただけたことを、とてもうれしく思っています。

実施後のアンケートでも、「改めて命の大切さを感じた」や、「とても役に立った」など、多くの感想が寄せられ、この事業に込めた大切なメッセージが伝わったものと感じています。 この世の中で、最も尊くかけがえのないもの、それは、人の命です。重症のけが人や急病人が発生したときに、大切な命を救うためには、その場に居合わせた人が、速やかに応急手当を行うことが必要です。

実際の救急現場でも、救急隊が到着する前に、応急手当が適切に実施されたおかげで、尊い命が救われた事例が何件も報告されています。

市民の皆さんが、必要な場面でちゅうちょなく応急手当を実施することができるよう、そして、何より大切な命を救うことができるよう、救命講習の機会を増やしていくことが大切と考えています。

**議席番号13　中条中学校　渡邊　澪樹　議員**

**救命講習の回数について（消防長）**

渡邊　澪樹議員さんの「救命講習の回数について」にお答えします。

「暑さに負けるな中学生事業」では、限られた時間での講習となりましたが、これとは別に、消防本部では応急手当の普及を図るため、その内容と所要時間別に5種類のコースを用意して、受講者を募集しています。

今年度は、すでに50回ほど開催し、1,200人を超える方が受講されています。どのコースもおおむね中学生以上の方を対象としていますので、皆さんにもぜひ受講してほ

しいと思います。

学校での開催は、一度の受講者数が限られることや授業時間などの関係から、難しいと思いますので、友達と誘い合わせて、夏休みなどを利用して、申込みをされてはいかがでしょうか。

救命講習の回数を増やしていくためには、消防職員だけでは限界がありますので、学校や企業など事業所ごとに、指導者(「応急手当普及員」といいます。)を置いていただくことを提案しています。

応急手当普及員が、生徒や従業員の皆さんに救命講習を指導することにより、応急手当の普及が、一層図れるものと期待しています。

これからも、渡邊さんのように、若い皆さんが救命講習に興味を持っていただくことで、救命の輪がどんどん広がっていくことを願っています。

# ６、ジュニア議員の感想

## ～夢･未来熊谷ジュニア議会を終えて～

### 1.　ワークショップについて

- 一緒に話せる友達もできて、とても良い場となりました。ちがう学校の友達ができて、とてもよかったです。
- 熊谷市のことがよく分かりました。これからの計画やこれから新しく建設されるものもあり、実際聞いてみて、驚きました。
- たくさんの友達ができ、議会本番も安心して取り組むことができました。また、熊谷のことをいろいろ知れたので、質問が考えやすかったです。
- 他校の生徒と信頼を深めたり、仲良くなることができました。さらに、自分の意見を発表しあうと色々な生徒の意見もでてきて、興味をもち、深めることができました。
- 熊谷市のことを勉強できてよかったです。特に印象に残っているのが、財政の話で、市政における「借金」について、考え方が変わりました。
- グループで考えたりできたのは、とても良い事だと思いました。すぐに本番ではなく、事前に打ち合わせができたので、とても心強かったです。
- 初めての時は本当に緊張しました。でも、班の人とみんなで意見を出し合うことによって一人一人が質問したいことを聞けることができました。班の人とも友達になれました。
- 議会の発表の練習もできたのであってよかったと思った。来年もワークショップを行い、少しでも質問者の緊張がとければいいと思う。
- 議会に関する説明もしてもらいたい。
- 市役所の方々が普段どのようなことに取り組んでいるのか丁寧に教えてくださいました。友達もできて、夏休みの素敵な思い出となりました。
- 次回以降も、行っていってほしいです。オススメです。
- お互いの顔が覚えられて、友達もたくさんつくることができました。自己紹介は緊張したけれど、学校のことや、色々な人の趣味、特技などが知れる良い機会でした。
- グループ討論のように少人数でやると恥ずかしくなく、積極的に話すことができました。

## 2. ジュニア議会を体験して

- 議会の進行について、とても詳しく知ることができました。
- 私達の意見を1つでも多く市役所の方々に使ってもらえるといいです。議会に参加したことを誇りに思います。
- 疑問に思っていたことの回答がいただけて良かったです。自分以外の議員の疑問、提案などを聞いて「なるほどなぁ」と思う部分が多々ありました。初めて知ったことも多く、参加できてよかったです。
- 市長さんにお答えしていただき、とてもうれしく思いました。
- 意見を市長さんや市役所の方に言うことで、熊谷をもっとよい方向へともっていきたいと思いました。自分で思ったことを言うのは、大切だと感じました。
- 少し照れくさかったけれど、本物の市議会と同じルールで行っていただけ、感激しました。
- 市議会議員さんや役所の方は、このようにして、市民のために様々なことを議論してくださっているのだとよくわかりました。
- 少し大人の世界にも触れられた気がします。みんなからの意見も参考にしてくれるというお言葉も頂きましたが、私たちも熊谷市の一員として何かできることをやりたいと思いました。
- 本物の議会と同じように市民の要望を子供目線から伝えることができたと思う。実現するためには色々と大変なこともあると思うが、ぜひ実現してもらいたい。
- 議場で話すときはとても緊張したので、あの場所で自分の意見をバンバン言える議員の人達はとてもすごいと思いました。
- 将来のことを考える手がかりにもなった。将来は市の職員になりたいと思った。

# 7、参考資料（ジュニア議員座席表）

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報広聴課長 | 広報広聴課 | | | | | | | | 議会事務局 | | |
| 都市整備部長 | 産業振興部長 | 環境部長 | 福祉部長 | | 議長 | 議会事務局長 | 議会事務局副局長 | 議会事務局主幹兼議事係長 | 監査委員事務局長 | 農業委員会事務局長 |
| 市民部長 | 総務部長 | 総合政策部長 | 市長公室長 | | | | 水道部長 | 契約室長 | 会計管理者 | 選挙管理委員会事務局長 |
| | 副市長 | 市長 | | | 演壇 | | 教育長 | 教育次長 | 建設部長 | 消防長 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 しらかわ みさ 白川 未彩（熊谷東中） | 7 ませ ゆうへい 間瀬 湧平（熊谷東中） | 6 あらかわ みのり 荒川 実璃（大原中） | 5 しゅうとう しんじ 周東 真司（大原中） | | | | | 4 かんばやし あおい 神林 葵（富士見中） | 3 ほりこし しゅうと 堀越 秀人（富士見中） | 2 たしろ りょう 田代 綾（荒川中） | 1 たなか りょうた 田中 涼太（荒川中） |
| 20 えばた さき 江幡 咲希（三尻中） | 19 たむら たかゆき 田村 恭志（三尻中） | 18 なかじま うらら 中島 麗（別府中） | 17 もり たかひろ 森 隆浩（別府中） | 16 こくぼ ひなこ 小久保 日奈子（吉岡中） | 15 そりまち あきのり 反町 亮徳（吉岡中） | 14 あおき みき 青木 未希（中条中） | 13 わたなべ みおな 渡邊 澪樹（中条中） | 12 よこた りかこ 横田 莉賀子（大麻生中） | 11 みむら けんと 三村 健人（大麻生中） | 10 つかだ えりな 塚田 枝里奈（玉井中） | 9 つちや まさし 土屋 真志（玉井中） |
| 32 すずき りお 鈴木 梨央（江南中） | 31 あらい たける 新井 健（江南中） | 30 かざま ひなの 風間 妃奈乃（妻沼西中） | 29 みうら だいすけ 三浦 大輔（妻沼西中） | 28 たにつ えり 谷津 絵里（妻沼東中） | 27 たべい やまと 田部井 大和（妻沼東中） | 26 こいけ みか 小池 美花（大里中） | 25 たけだ たくみ 武田 拓己（大里中） | 24 しぶいち ゆうか 四分一 優佳（大幡中） | 23 しばさき きょうへい 柴﨑 恭兵（大幡中） | 22 まつもと あやか 松本 彩花（奈良中） | 21 よしい ひろき 吉井 廣生（奈良中） |

| | |
|---|---|
| ミキサー室 | 傍聴席 |

## 8、参考資料（答弁のための出席者）

| | |
|---|---|
| 市長 | 富岡　清 |
| 副市長 | 嶋野　正史 |
| 市長公室長 | 建川　崇嗣 |
| 総合政策部長 | 篠木　英郎 |
| 総務部長 | 小泉　照雄 |
| 市民部長 | 稲村　光 |
| 福祉部長 | 関口　和佳 |
| 環境部長 | 田所　隆雄 |
| 産業振興部長 | 長谷川　泉 |
| 都市整備部長 | 藤原　清 |
| 建設部長 | 秋山　昌久 |
| 消防長 | 須賀　忠 |
| 水道部長 | 小林　卓敏 |
| 契約室長 | 山﨑　昌司 |
| 会計管理者 | 栗原　幹雄 |
| 教育長 | 野原　晃 |
| 教育次長 | 鯨井　勝 |
| 選挙管理委員会事務局長 | 大沢　正幸 |
| 監査委員事務局長 | 米澤　ひろみ |
| 農業委員会事務局長 | 木村　和行 |
| | |
| 議会事務局長 | 安西　俊之 |

市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第７回　夢･未来熊谷ジュニア議会　会議録

発行　熊谷市　広報広聴課

〒360-8601　熊谷市宮町 2-47-1

℡：048-524-1111(代表)